

【第2号議案】

平成25年度（第四期）倉橋部町グリーンファーム活動基本方針について（案）

《活動基本方針》

我が国を取り巻く状況は、「国全体の収支が31年ぶりの経常赤字の計上」、「経済の長期に及ぶデフレ」、「東日本大震災からの復旧の立ち遅れ」等、益々厳しさを増してきております。

一方、国の農業政策は昨年末の政権交代（民主党→自民党）により今年度より「戸別所得補償制度」から「経営所得安定対策」に名称が変更される模様ですが、昨年度までの「戸別所得補償制度」の内容が踏襲される模様で、来年度以降に大幅な変更がなされる模様であります。

また、太平洋戦略的経済連携協定（TPP）、経済連携協定（EPA）、自由貿易協定（FTA）等自由化について自民党政権下でも、交渉参加に対しアイマイな説明が多く、予断を許さない状況であります。

そうした中、今年度当グリーンファームは一昨年の法人化設立総会で決定頂きました新たな労務体制等のもと、従来にも増した緻密で効率的な経営を実践いたさなければなりません。

また、水稻を中心とした栽培のやり方についても、今後は今日までの継続性（従来こうしていたから今年もこうやらなければならない！）のみを継承することなく、新たな発想転換によるコスト削減も必要と思われれます。

以上、今年度は新役員による実践初年度として、大変重要な礎の年であることを組合員全員がご認識いただき、全組合員一丸となって当初目的達成にご尽力賜りたくお願い申し上げます。

《スローガン》

- ◎ 倉橋部町グリーンファームは、農業の協働化を通して効率的な農業経営の実現と、組合員共同の利益の増進を図る。
- ◎ 倉橋部町グリーンファームは、協業集落型経営体（集落一農場）のもと、過去より引き継がれたこの倉橋部町の美田を守り、今後新しい世代への引き継ぎを図る。

《活動方針》

総務部

- 法人化に伴う諸規定の整備を行う。
- 部門別(水稻、小麦、大豆)損益の把握できる資料の作成を行う。
- 全組合員参加によるイベント(先進地視察研修)を実施する。
- 組合飯用米代金の増益を目的として、近隣団地等への販売に取り組む。

営農部

- 組合員全員による相互理解のもと、自主性や協力性を高めながら、やりがいのある営農活動を進める。
- 組織の充実と活性化により、担当役員を中心とした計画的な営農作業の推進と内製化への取り組みを図る。
- 新たな農政の展開と併せ、集落ぐるみで農地を守る取り組みと農地の総合的な利用を図り、生産調整の達成や環境こだわり米の栽培、小麦あと大豆の高度利用等へ積極的に取り組む。

- これまでの実績や反省を踏まえつつ、作業に応じた協業化と専門性を生かし、農作業の効率化と生産性の向上を図り、より良い品質確保と収穫量のアップにより売れる米づくりをめざす。
- 環境保全活動に留意した濁水の流出防止や減農薬、有機肥料の施肥など、環境にやさしい農業の推進に取り組む。

農機具・施設管理部

- 機械操作・作業は安全第一で行うことが最も重要であり、このため作業員全員への周知徹底と自覚を促し、いかなる作業も無事故で終わることができるよう、常に作業マニュアルを再確認するべくミーティングを重視する。
また、機械器具は協同利用、共同の財産であることから、適切な作業手順により機械の延命遵守を図る。
これらの原理・原則は、オペレーター、作業員の共通理解としての浸透を図る。
- 使用する農機具全般にわたり、支障なく安全に作業ができるよう保守、点検、整備、管理に努める。
特に、コンバイン(GC440) 右側クローラ取替え
約30万円
コンバイン2台とも こぎ胴の網交換、クローラ張り調整
約21万円
田植機(6条) 植え付け部交換(12本) 約17万円
フォークリフト自主点検 約8万5千円
- 農作業が円滑に行えるよう農業施設、設備の補修を随時行う

[倉橋部町の農地は倉橋部町で守る!] [次世代の為に新しい農業を構築しよう!]

- 格納庫、乾燥調整施設の新設については、整備検討委員会と協調しながら推進を図る。

平成25年度 倉橋部町グリーンファーム・主な営農作業(案)

(敬称略、順不同)

平成25年2月12日

月	作業内容	作業時期	作業担当者	摘要
12	土改肥料施用(環境こだわり圃場)	済	栄一、孝、信夫	H23/11/10 施用済
3	肥料、農薬等の配達受	3月中旬	営農部	数量立会い
	小麦の穂肥の施肥	3月中旬～下旬		元肥一発型の為、生育状況にて施肥をするか判断する。
	中割作業	3月中旬	延良、政治、栄一、清広	ディスクロータリーによる
	畔塗り(畦塗り機にて)	3月下旬	別途オペレーター割当	中割作業後、河川側優先で
4	平面整地作業	4月上旬	別途割り当て	ロータリーによる
	発芽苗引取り	4月下旬	別途育苗農家	
	ハロー取り付け 田植機始動整備	4月下旬	農機具施設管理部	
	土手等の除草	4月下旬	各班割り当て田	
	水入れ	4月下旬	各班 水利担当	暗渠キャップ、尻水戸止水板
	代掻き			田植え予定
5	代掻き	4月下旬～ 月中旬	5 別途アンケート方式による 作業割当	日本晴、秋の詩、みずかがみ(5/1～)
	苗引き取り、田植			コシヒカリ、キヌヒカリ(5/15～)
	畦畔シート入れ	田植後	各班割り当て田	必要に応じて実施
	小麦赤カビ防除	5月上旬	無人へりによる散布	J Aに依頼
	小麦実肥の施肥	5月上旬	別途割り当て	
	ほ場内除草剤の散布	田植後	別途割り当て	中期剤散布、後期剤散布
	トラクターと田植機の洗浄、整備	田植終了後	農機具施設管理部	
	土手等の除草	5月下旬	各班割り当て田	
6	小麦収穫作業	6月中旬	別途アンケート方式による作業割当	
	麦わら焼却	小麦刈取後	別途割り当て	
	大豆用播種機整備	小麦刈取後	農機具施設管理部	
	大豆播種作業	小麦刈取後適期	別途アンケート方式による作業割当	整地～播種～中耕～防除(中耕、防除は数回)
	水稲中干し作業	6月中旬～下旬	各班割り当て田	溝切り機による作業
	土手等の除草	6月下旬	各班割り当て田	
7	穂肥の施肥	7月適期	別途割り当て	
	土手等の除草	7月下旬	各班割り当て田	カメ虫対策

月	作業内容	作業時期	作業担当者	摘要
8	水稲防除	8月上旬	別途割り当て	病害発生予察に基づく
	土手等の除草	8月中旬	各班割り当て田	カメ虫対策
	水稲刈取コンバイン整備	8月中旬	農機具施設管理部	
9	土手等の除草	収穫前適期	各班割り当て田	
	水管理給水止め作業	収穫前適期	水管理担当者	暗渠キャップ、止水板、波板の回収・清掃
	水稲収穫作業	9月上旬～下旬	別途アンケート方式による作業割当	
	飯米乾燥、調整、引渡し	9月上旬～下旬	協力組合員、ナカエ等	
10	コンバイン洗浄、整備	10月上旬	農機具施設管理部	
	転作田スジ付け、回りスキ	10月適期	別途オペレーター割当	
	回りスキ後の排水作業	10月適期	各班割り当て田	
	土手等の除草	10月下旬	各班割り当て田	
11	小麦の播種作業	11月上旬	別途アンケート方式による作業割当	10月に種子分け準備
	耕起作業ディスクロータリ-取付	11月上旬	農機具施設管理部	
	土改肥料の施肥	11月上旬	別途割り当て	
	耕起作業(畝立、平面整地)	11月中旬～	別途オペレーター割当	
12	大豆収穫作業	12月上旬	別途アンケート方式による作業割当	
	大豆収穫作業後の圃場整地	12月中旬～	別途オペレーター割当	

上記作業計画は年間の概要であり、実作業にあたっては農地の状況等を判断しながら、変更及び修正していきます。余裕を持って作業をお願いします。

ほ場周囲の草刈は、前年度と同様に班別で対応するものとし、方法については班に一任します。

(自走式草刈機の使用は、倉庫前のカレンダーに使用予定日を記入して下さい)

草刈時期は組合から指示し、労務費は一元管理、除草剤、混合油は組合で準備、その他の詳細はその都度連絡します。

施肥、除草剤散布の動力散布機はJAで都度借用します。

作業は、単独オペレータ作業以外は複数人数での作業をお願いします。作業後の確認もお願いします。

作業は、常に『安全第一』で実施して下さい。

今年度の作業も無事故で終わるように組合員の自覚と協力をお願いします。

損益計算書(案)

自 平成25年 1月 1日

至 平成25年12月31日

	コード	勘定科目	金額	割合(%)	主な内容
収入の部	4111	農産物売上高(水稻)	16,000,000円	60.0%	H25年産米JA概算払い・調整払い、H23年産精算金
	4111	農産物売上高(小麦)	500,000円	1.9%	H25年産仮渡金、H23年産精算金
	4111	農産物売上高(大豆)	600,000円	2.3%	H24年産仮渡金、H23年産精算金
	4112	作業受託収入	195,696円	0.7%	農地管理料8,000円/10a(5名分)
	7111	受取利息割引料	1,000円	0.0%	預金利息等
	7114	受取配当金	360円	0.0%	JAグリーン近江出資配当金
	7118	雑収入	9,000,000円	33.8%	個別所得補償制度に係る奨励、助成、補助金等
			350,000円	1.3%	未収穫農産物
(合計)			26,647,056円	100.0%	
費用の部	5412	種苗費	1,520,000円	7.6%	水稻1,200,000円、小麦200,000円、大豆120,000円
	5414	肥料費	1,600,000円	8.0%	水稻1,100,000円、小麦350,000円、大豆150,000円
	5414	農薬費	2,000,000円	10.0%	水稻1,200,000円、小麦400,000円、大豆400,000円
	5452	動力燃料費	300,000円	1.5%	軽油、ガソリン・混合油、オイル
	5455	減価償却費	2,600,000円	12.9%	農機具、倉庫等の償却費用
	5456	修繕費	800,000円	4.0%	農機具に対する保守修繕費
	5457	租税公課	40,000円	0.2%	トラック車検重量税・印紙税、自動車税等
	5458	地代、賃借料	4,050,000円	20.2%	地代(2万/10a)3,945,560円、レンタカー代
	5459	共済・保険料	550,000円	2.7%	農業共済(水稻、小麦、大豆)の掛金、傷害共済の掛金
	5461	消耗品費	300,000円	1.5%	
	5462	水利費	787,362円	3.9%	西部土地改良水利費
	5463	施設利用料	2,700,000円	13.4%	水稻2,000,000円、小麦400,000円、大豆300,000円
	5467	雑費	16,000円	0.1%	代行手数料
	6114	包装材料費	35,000円	0.2%	米紙袋代
	6211	役員報酬	660,000円	3.3%	理事報酬
	6226	厚生費	50,000円	0.2%	総会費用
	6214	減価償却費	140,000円	0.7%	工具・器具・備品等の償却費用
	6217	事務用消耗品費	100,000円	0.5%	事務用品等
	6221	租税公課	5,000円	0.0%	利息の税金等
	6223	接待交際費	5,000円	0.0%	
	6252	備品・消耗品費	5,000円	0.0%	
	6228	諸会費	50,000円	0.2%	JAグリーン近江賦課金、JA労働保険料、自治会負担金
	6231	雑費	450,000円	2.2%	吉永会計事務所顧問料、農業新聞代等
		賃金	600,000円	3.0%	組合員以外の労務費
7511	支払利息	30,000円	0.1%	JA借入金に対する支払利息	
	法人税、住民税	700,000円	3.5%		
(合計)			20,093,362円	100.0%	
経営利益(収入の部-費用の部)			6,553,694円		
配当金			5,000,000円		組合員の労務費(労務、水利、育苗、乾燥調整)
当期利益金			1,553,694円		経営利益金-従事分量配当

損益計算書前年対比表

コード	科目	平成25年度計画(A)		平成24年度実績(B)		比較(A)-(B)	
		金額	割合(%)	金額	割合(%)		
収入の部	4111	農産物売上高(水稻)	16,000,000円	60.8%	17,856,538円	57.2%	-1,856,538円
	4111	農産物売上高(小麦)	500,000円	1.9%	494,246円	1.6%	5,754円
	4111	農産物売上高(大豆)	600,000円	2.3%	561,860円	1.8%	38,140円
	4112	作業受託収入	195,696円	0.7%	186,377円	0.6%	9,319円
	7111	受取利息割引料	1000円	0.0%	1,220円	0.0%	-220円
	7114	受取配当金	360円	0.0%	360円	0.0%	円
	7118	雑収入	9,000,000円	34.2%	12,129,991円	38.8%	-3,129,991円
(合計)		26,297,056円	100.0%	31,230,592円	100.0%	-4,933,536円	
費用の部	5412	種苗費	1,520,000円	7.6%	1,514,045円	7.3%	5,955円
	5414	肥料費	1,600,000円	8.0%	1,737,281円	8.3%	-137,281円
	5414	農薬費	2,000,000円	10.0%	2,023,767円	9.7%	-23,767円
	5452	動力燃料費	300,000円	1.5%	291,067円	1.4%	8,933円
	5455	減価償却費	2,600,000円	12.9%	2,896,218円	13.9%	-296,218円
	5456	修繕費	800,000円	4.0%	272,930円	1.3%	527,070円
	5457	租税公課	40,000円	0.2%	36,800円	0.2%	3,200円
	5458	地代、賃借料	4,050,000円	20.2%	4,055,030円	19.5%	-5,030円
	5459	共済、保険料	550,000円	2.7%	526,496円	2.5%	23,504円
	5461	消耗品費	300,000円	1.5%	634,729円	3.0%	-334,729円
	5462	水利費	787,362円	3.9%	787,362円	3.8%	円
	5463	施設利用料	2,700,000円	13.4%	3,069,635円	14.7%	-369,635円
	5467	雑費	16,000円	0.1%	16,000円	0.1%	円
	6114	包装材料費	35,000円	0.2%	27,857円	0.1%	7,143円
	6211	役員報酬	660,000円	3.3%	720,000円	3.5%	7,143円
	6226	厚生費	50,000円	0.2%	62,134円	0.3%	-12,134円
	6214	減価償却費	140,000円	0.7%	149,554円	0.7%	-9,554円
	6217	事務用消耗品費	100,000円	0.5%	74,595円	0.4%	25,405円
	6221	租税公課	5,000円	0.0%	814円	0.0%	4,186円
	6223	接待交際費	5,000円	0.0%	3,000円	0.0%	2,000円
	6225	備品・消耗品費	5,000円	0.0%	1,101円	0.0%	3,899円
	6228	諸会費	50,000円	0.2%	45,574円	0.2%	4,426円
	6231	雑費	450,000円	2.2%	448,002円	2.2%	1,998円
	賃金	600,000円	3.0%	345,475円	1.7%	254,525円	
7511	支払利息	30,000円	0.1%	24,455円	0.1%	5,545円	
	法人税、住民税	700,000円	3.5%	1,073,300円	5.2%	-373,300円	
(合計)		20,093,362円	100.0%	20,837,221円	100.0%	-743,859円	
差引(収入の部-費用の部)		6,203,694円		10,393,371円		-4,189,677円	